

秩父市地域公共交通計画 概要版



1. 計画の背景・目的、対象区域・期間

背景と目的

秩父市では、自動車依存の高さや人口減少・少子高齢化のさらなる進行等により、公共交通利用者が減少し、地域公共交通を取り巻く環境が一層厳しさを増している。
 そうした中、都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定により、まちづくりへの変化の対応や観光客の移動手段の確保に向け、地域公共交通の総合的な見直し検討が求められている。
 本計画は、これからのまちづくりを考慮し、まちづくりと連携した公共交通ネットワークを再構築するとともに、利便性の高い公共交通を維持・確保していくための具体的な方策を検討し、「秩父市地域公共交通計画」として誰もが利用しやすい持続可能な公共交通体系の構築に向けた取り組みを示すことを目的とする。

対象区域 秩父市全域 対象期間 2022（令和4）年度～2027（令和9）年度

2. 公共交通の現状

地域	地域別の現状と移動・公共交通の課題	
【1】大滝地域	<ul style="list-style-type: none"> 市民の移動は中央・影森地域が多いが、地域内移動も存在。 川又線の運行経費は、約14,000円/利用者と高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 大滝国保診療所やとちの木カフェの送迎車も地域の移動手段。 観光地は多いが、観光ピーク期以外のバス利用は少ない。
【2】中央地域	<ul style="list-style-type: none"> 都市機能誘導区域、居住誘導区域あり。 市民の多くは地域内で移動。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内線、久那線は利用が少ない。 タクシーは、日中において供給台数が多い。
【3】吉田・大田地域	<ul style="list-style-type: none"> 吉田地域の市民の多くは、皆野町や小鹿野町に移動。 大田地域の市民の多くは、中央地域に移動。 秩父吉田線は、吉田総合支所以西で利用が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 皆野町など地域外に行ける公共交通の要望が多い。 乗合タクシーの運行経費は、約6,000円/利用者が高い。
【4】荒川地域	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多くは中央・影森地域に移動。 影森駅～三峰口駅間は鉄道利用が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央地域へは影森駅での乗り換えが必要。
【5】影森・浦山地域	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多くは影森・中央地域に移動。 浦山線(市営バス)が運行(収支率約10%)。 	<ul style="list-style-type: none"> 浦山ダム、橋立鍾乳洞等の観光地が存在。
【6】原谷地域	<ul style="list-style-type: none"> 市民の移動は中央地域が多いが、地域内移動も存在。 秩父鉄道の大野原駅、和同黒谷駅が存在。 	<ul style="list-style-type: none"> 原谷線の瑞岩寺入口～下宿間はバス停がない。
【7】高篠地域	<ul style="list-style-type: none"> 市民の移動は中央地域が多いが、地域内移動も存在。 	<ul style="list-style-type: none"> 三沢線、定峰線の路線バスが運行。

本計画では、課題解決の必要性が大きいと考えられる3地域に対して重点的に取り組む

【1】大滝地域、【2】中央地域、【3】吉田・大田地域

3. 計画の基本方針と計画目標

基本方針 市民や観光客に選ばれる持続可能な地域公共交通の実現

市民・観光客に選択してもらえる公共交通 高齢化の進行で運転免許証の返納等により、自動車の利用が困難となる高齢者の増加が見込まれるため、自動車の利用ができない方でも安心・便利に暮らし続けられる地域づくりが必要である。また、地域の活性化に向けては、観光客の移動手段を確保する必要もある。自動車以外の地域内の移動手段として、市民・観光客に選択してもらえる公共交通網の構築を目指す。

持続可能な公共交通サービスの提供 今後の人口減少により地域公共交通の維持が困難となる状況にあっても、市民や観光客が地域公共交通を利用して市内を移動できるよう、地域の状況を踏まえた公共交通サービスに変更していくことで、地域公共交通の維持・確保を図る。

目標の設定

- 目標① 市民の移動手段の維持・確保が図られ、持続可能な地域公共交通の実現
- 目標② まちづくりとの連携が図られ、将来像の実現に資する地域公共交通の実現
- 目標③ 観光需要に対応した地域公共交通の確保

4. 目標の達成状況を評価するための数値指標と目標値

目標	施策	評価指標	指標の定義	単位	現況値注	目標値注
目標①	1	公共交通の利用状況(大滝地域)	バス(補助路線)の利用者数	人/年	3,161※1 (4.8回/人年)※2 ☆沿線住民が利用回数を1割増やす	3,200以上※1 (5.3回/人年)※2
	2	公共交通利用状況(吉田・大田地域)	秩父吉田線の利用者数	人/年	41,430 (3.7回/人年)※3 ☆沿線住民が利用回数を1割増やす	41,800以上 (4.1回/人年)※3
	3		吉田・大田地区乗合タクシーの利用者数	人/年	1,170 (0.50回/人年)※4 ☆沿線住民が利用回数を1割増やす	1,300以上 (0.55回/人年)※4
	4	公共交通利用促進の取組実績	広報、HP等による公共交通利用促進に関する取組件数	件(累計)	-	10以上
	5	鉄道・路線バス等の利用者数	市内鉄道駅乗降人員	千人/年	5,081 (84.3回/人年)※5 ☆全市民が利用回数を1回増やす	4,700以上 (85.3回/人年)※5
			路線バス等利用者数	千人/年	500※6 (8.3回/人年)※5 ☆全市民が利用回数を1回増やす	510以上※6 (9.3回/人年)※5
	6	秩父市の財政負担額	大滝地域の公共交通に対する財政負担額(市補助金)	千円/年	14,614※7 ☆市の負担額を約25%削減する	11,200以下※7
7		吉田・大田地域の公共交通に対する財政負担額(市補助金)	千円/年	24,599※8 ☆市の負担額を1割増以下に抑制する	27,500以下※8	
目標②	8	タクシーの利用状況	中心市街地におけるタクシーの利用者数	千人/年	257※9 (4.3回/人年)※5 ☆全市民が利用回数を1割増やす	260以上※9 (4.7回/人年)※5
目標③	9	公共交通による観光客数	公共交通を利用した秩父市の観光入込客数	千人/年	2,270※10 (42.3%) ☆現在の公共交通の利用率を維持する	2,290以上※10 (42.3%)

注)現況値及び目標値の()内は、沿線住民または市民1人あたりの値。現況値は令和元年(財政負担額は令和2年)、目標値は令和9年。☆は、目標値の達成に向けた目安 ※1:川又線、診療所送迎車及びとちの木カフェ送迎車 ※2:大滝地域の人口により算出 ※3:吉田・大田地域及び尾田町地域の65歳以上人口により算出 ※4:吉田・大田地域の人口により算出 ※5:秩父市の人口により算出 ※6:民営・市営の路線バス及び乗合タクシー(診療所送迎車及びとちの木カフェ送迎車は含まない) ※7:川又線、診療所送迎車及びとちの木カフェ送迎車への市負担額。負担額はトレンド的には約1.5倍と推計されるが、目標値はトレンド値の1/2を目指す ※8:秩父吉田線、吉田・大田地区乗合タクシーにおける市負担額。負担額はトレンド的には2割増と推計されるが、目標値は1割増以下に抑制を目指す ※9:秩父交通圏(秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町及び小鹿野町)の乗車人員 ※10:第2次秩父市総合振興計画 後期基本計画の観光入込客数に、観光客の公共交通(鉄道・バス)利用率を乗じて算出。()内は、2010(平成22)年埼玉県入込観光客「推計」調査による秩父市入込客の公共交通(鉄道・バス)利用率

5. 施策一覧、実施主体、実施スケジュール等

地域	施策	施策概要	目標との関連性			実施主体	実施スケジュール					
			目標①	目標②	目標③		2022年度 (令和4年度)	2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)
【1】大滝地域	1 公共交通網の再編 (運行の再編)	<ul style="list-style-type: none"> 川又線、大滝国保診療所送迎車、とちの木カフェ送迎車の運行再編を検討 再編検討では、「大滝総合支所、大滝国保診療所」へのアクセス確保、「大滝温泉遊湯館、三峰口駅」での乗り継ぎを考慮 運行形態は、乗合事業、交通空白地有償運送、地域が主体となった運行などを検討(国庫補助事業の活用も検討) 中津川線は、現状の運行を維持 	●			<ul style="list-style-type: none"> 市 交通事業者 地元 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の意向把握 運行形態検討 	<ul style="list-style-type: none"> 実証実験 	<ul style="list-style-type: none"> 本格運行(モニタリング) 			
	2 公共交通網の再編 (拠点の形成)	<ul style="list-style-type: none"> 「大滝総合支所」は地域の拠点、「大滝温泉遊湯館、三峰口駅」は中央地域への乗継拠点として形成 大滝国保診療所が移転する「大滝総合支所」では、診療所利用者も考慮した待合環境を整備 「大滝温泉遊湯館、三峰口駅」では、三峯神社線、秩父鉄道との乗り継ぎの円滑化を実施(待合環境の整備や乗継情報を提供) 	●			<ul style="list-style-type: none"> 市 交通事業者 地元 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点の整備内容の検討 交通事業者等との協議・調整 	<ul style="list-style-type: none"> 大滝総合支所・大滝温泉遊湯館・三峰口の待合環境の整備、乗継周知 				
	3 観光需要に応じた観光客移動手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> 川又線の「観光ピーク期のみ」の運行への対応を検討。 観光ピーク期(土曜・休日等)は、三峰口線の臨時便の活用を検討 観光ピーク期以外は、三峰口駅からのタクシー利用等の活用を検討 検討決定事項は、観光客への情報提供を検討・実施 	●		●	<ul style="list-style-type: none"> 市 交通事業者 イベント主催者 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の移動実態・公共交通利用実態の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜・休日の再編検討 観光客への情報提供方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 観光需要に応じた運行(モニタリング) 観光客への情報提供の実施 			
【2】中央地域	4 タクシーを活用した地域内移動の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地におけるタクシーの新たな運行形態の導入検討 		●		<ul style="list-style-type: none"> 市 タクシー事業者 バス事業者 		<ul style="list-style-type: none"> 交通事業者協議・調整 実施内容の具体化検討(関連制度等の整理、予算確保等) 	<ul style="list-style-type: none"> タクシーを活用した地域内移動利便性向上策の実施(実証実験) 			
【3】吉田・大田地域	5 路線バス(秩父吉田線)の運行見直し(区間見直し・駅接続)	<ul style="list-style-type: none"> 秩父吉田線を皆野駅に接続するルートの検討 秩父吉田線の吉田総合支所以西の運行頻度の見直し検討 運行の早期実現に向け、埼玉県等への要望と調整 	●			<ul style="list-style-type: none"> 市 交通事業者 地元 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の意向把握(住民アンケートの実施等) 運行事業者等との協議 	<ul style="list-style-type: none"> 秩父吉田線の運行見直し(モニタリング) 				
	6 乗合タクシーの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 吉田・大田地区乗合タクシーの広報・周知(利用促進)の実施 吉田・大田地域住民を対象にした無料利用券の交付 	●			市	<ul style="list-style-type: none"> 広報・周知の実施(実施済み(5月)) 利用券の交付(実施済み(6月)) 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌等による定期的な広報・周知(利用状況のモニタリング) 				
	7 乗合タクシー利便性向上に向けた運行内容改善	<ul style="list-style-type: none"> 皆野町、小鹿野町への地域外乗降場所の増設検討 予約・配車システムの導入による運行内容の改善(予約方法等) 小鹿野町の乗合タクシーとの連携運行について協議 	●			<ul style="list-style-type: none"> 市 交通事業者 	<ul style="list-style-type: none"> 予約・配車システムの導入 運行内容の改善検討 地域外乗降場所増設に向けた協議 	<ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシーの運行内容改善(モニタリング) 	<ul style="list-style-type: none"> 小鹿野町との連携運行について検討・協議 			
秩父市全域	8 地域と連携した公共交通の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 各地域の町会を通じた住民意向の把握(公共交通の現状認識・問題点等) 町会を通じた利便性向上策、利用促進策の検討※ 	●			<ul style="list-style-type: none"> 市 交通事業者 地元 	<ul style="list-style-type: none"> ※ 検討施策 荒川：秩父鉄道の利用促進 影森・浦山：浦山線の利用促進、観光客の公共交通利用促進 原谷：秩父鉄道、原谷線の利用促進、原谷線のバス停の設置・ルート見直し 高篠：定峰線の利用促進、観光客の公共交通利用促進 尾田蒔、別所・久那：秩父鉄道、路線バスの利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 町会を通じた住民意向・課題把握、利用促進・利便性向上策の実施 				
	9 観光客等の公共交通利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 観光客の移動実態の把握 観光客への周遊ルート提案機能の設計・開発・提供(観光MaaS) 観光MaaS利用者満足度調査の実施による観光MaaSの機能拡張(適時) 			●	<ul style="list-style-type: none"> 市 交通事業者 	<ul style="list-style-type: none"> 観光MaaSの実装 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客への移動手段(公共交通)情報の提供 観光MaaSの機能拡張 				